

## 「7才の交通安全プロジェクト」

全国約7,000人の小学生に「交通安全オンライン授業」を配信

約9割の先生が「児童たちが楽しそうだった」「交通安全教育に役立った」と評価

7月31日よりアーカイブ動画をホームページにて公開

こくみん共済 coop 〈全労済〉（全国労働者共済生活協同組合連合会 代表理事 理事長：打越 秋一）は、株式会社朝日学生新聞社（代表取締役社長：安田 雅信）とともに、未来ある子どもたちを交通事故から守る「7才の交通安全プロジェクト」の取り組みの一環として、小学生1年から4年生を主な対象とした小学校向けの「交通安全オンライン授業」を6月25日（水）に実施しました。授業は午前、午後の2回に分けて配信され、合わせて75校、全国の7,104名の児童が参加しました。

本授業の様子を7月31日より、当会ホームページにてアーカイブ動画として公開します。

夏休みに入り子どもたちも行動範囲が広がる時期となります。夏休みの旅行やお出かけ前の準備の一つとして是非ご視聴ください。

### 【授業の内容】

授業では歩行中の交通安全に関する10問のクイズを初級・中級・上級・超上級に分けて出題しました。例えば、子どもと大人の視界を比較する問題では、実際に子どもと大人が見えている範囲を表示した写真を出題し、子どもと大人で水平方向・垂直方向それぞれで見える範囲に違いがあることを解説しました。授業の最後には10問のクイズをおさらいすることで、歩行中に注意するべきポイントについて児童への定着をはかりました。



### 【講師】

沼田晶弘（東京学芸大学附属大泉小学校 教諭）

東京学芸大学教育学部卒業後、アメリカ・インディアナ州立ボールスティト大学大学院にて修士課程を修了。2006年から現職。教育関係のイベント企画を数多く実施するほか、企業向けにやる気を引き出す声かけや、リーダーシップ、コーチング、信頼関係構築などの講演も精力的に行ってい。著書に、『One and Only～自分史上最高になる』（東洋館出版）など多数。

### 【小学校対象「交通安全オンライン授業」の概要】

- 主催：こくみん共済 coop 〈全労済〉、朝日学生新聞社
- 協力：朝日新聞 先生コネクト
- 実施対象：小学校
- 開催日時：2025年6月25日（水）①10：45～11：30 ②13：00～13：45

### 【7才の交通安全プロジェクトとは】

小学校にあがり行動範囲が広がる7才児は、大人よりも目線が低く、まだ充分に注意力が育まれていないために、交通事故による死者数が突出して多いというデータがあります（公益財団法人交通事故総合分析センター調べ）。当会では、このデータに着目し、未来ある子どもたちを交通事故から守るために、2019年1月から交通事故抑制に取り組んでいます。

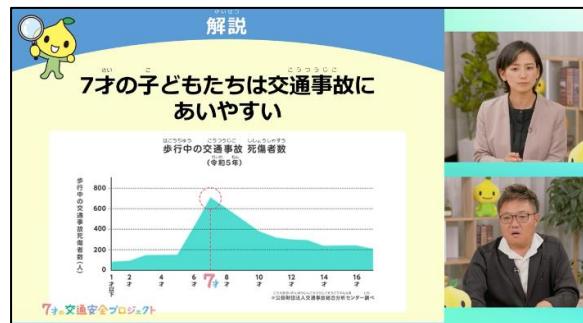
## 7才の交通安全プロジェクト

（公式サイト URL）<https://www.zenrosai.coop/anshin/7pj.html>

【講師：沼田晶弘氏（東京学芸大学附属大泉小学校 教諭）のコメント】

クイズにチャレンジして楽しみながら、交通安全について学ぶことができる授業です。ぜひ小学校でもご活用ください。

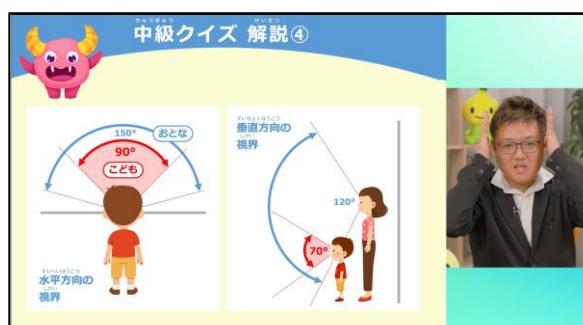
【小学校対象「交通安全オンライン授業」の様子】



授業の最初に「7歳が交通事故にあいやすい」データとその原因を解説しました



初級クイズの様子



中級クイズの様子



上級クイズの様子

本授業の動画は、こくみん共済 coop のホームページからご覧いただけます。

URL : <https://www.zenrosai.coop/anshin/7pj/rule/school202506.html>

## 【授業に参加いただいた小学校の様子】

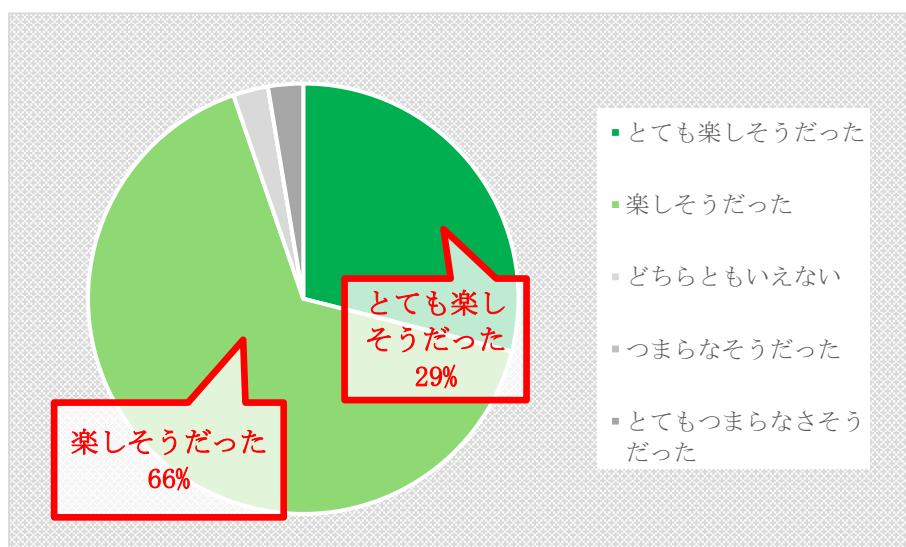
オンライン授業を受けた学校の担当教諭に、インターネットによるアンケート調査を実施しました（参加した75校中、うち38校が回答）。

およそ9割の先生が、授業中、児童たちが「楽しそうだった（とても楽しそうだった）」と回答しました。また、「授業の内容がわかりやすかった（とてもわかりやすかった）」と答えた先生はおよそ7割、「授業が児童たちの安全教育に役立った（とても役立った）」と答えた先生はおよそ9割にのぼりました。

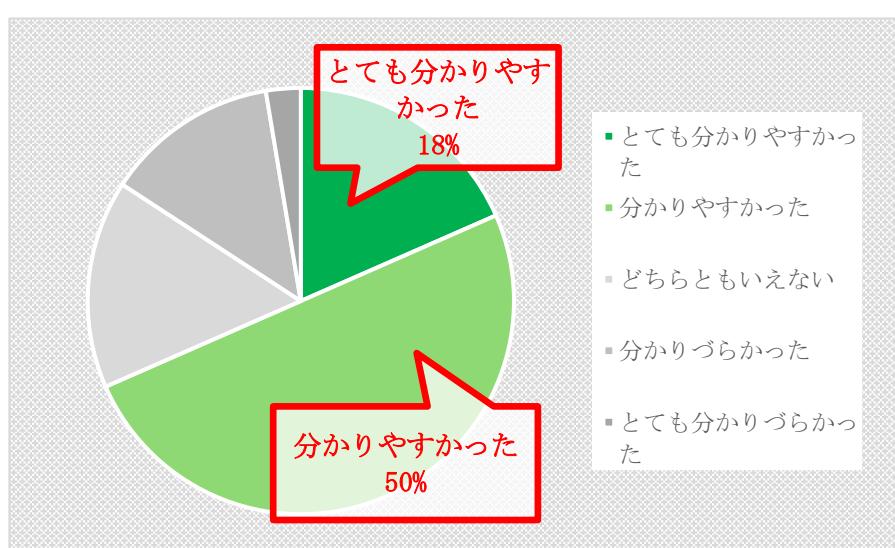
自由回答では「クイズ形式なので、オンラインでも一方通行な内容ではなく、よく話を聞いて取り組めました」「今回参加した児童は、7才という年齢だったので、最も危険な年齢であると自覚できたと思う」などの声が寄せられました。

### ●アンケート回答詳細

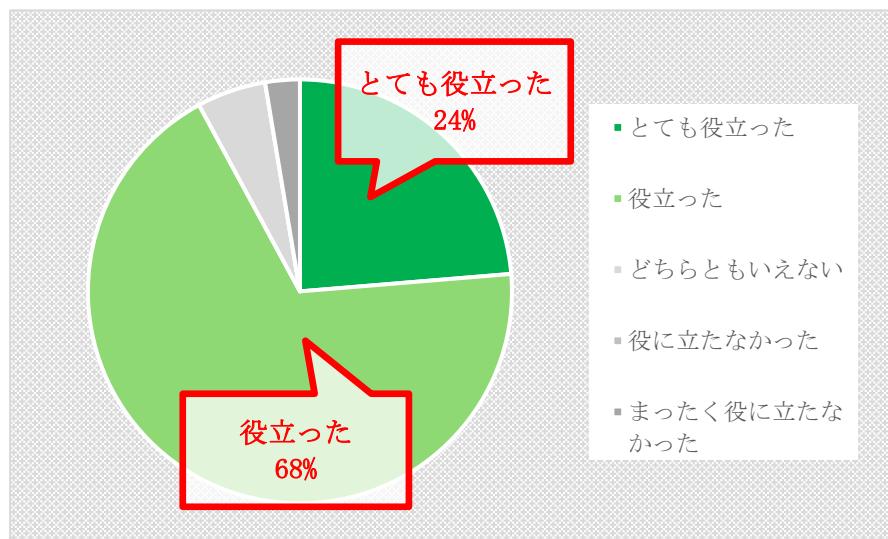
授業について児童の反応をお教えください



授業の内容は児童に分かりやすいと思いましたか



## 授業は児童の交通安全教育に役立ちましたか



### ●自由回答 ※一部

- ・教師も児童と一緒にクイズに取り組むことができて良かったです。
- ・クイズ形式なので、オンラインでも一方通行な内容ではなく、よく話を聞いて取り組めました。
- ・クイズがあり、参加型だったので、自分たちが出した答えがすぐに反映されて確認することができ、楽しく取り組むことができました。ありがとうございました。
- ・クイズがたくさんあったので、児童も楽しく授業を受けることができていました。簡単な問題も多く用意してくださっていたので、意欲をもって取り組んでいました。
- ・クイズ形式にすることで、楽しみながら取り組むことができました。今回の授業を通して、登下校について児童自身が自覚して気をつけて行動できるとよいと思いました。
- ・時間的な長さもちょうどよかったです。クイズ形式になっていたので、意欲をもって取り組んでいた。今回参加した児童は、7才という年齢だったので、最も危険な年齢であると自覚できたと思う。
- ・クイズを交えながらの学習会だったので子ども達も集中して楽しく学ぶことが出来ました。

## 【7才の交通安全プロジェクト これまでの主な取り組み】

### 1. 横断旗の寄贈

共済商品の利用を社会課題の解決にも繋げるため、2020年6月より「マイカー共済」のお見積もり1件につき、1本の横断旗を寄贈する取り組みをスタートしました。これまでに155万本以上(※)の横断旗を全国の児童館・小学校などへ寄贈することができました。※ピットくん・コーすけコラボ横断旗含む

### 2. 金沢大学との共同研究の実施

2019年11月から、金沢大学との共同研究をスタートし、7才児を中心に子どもたちの目線や行動を調査して、交通事故から子どもを守るために具体的な実験・分析と改善に取り組んでいます。

### 3. 「私のまちの7才の交通安全ハザードマップ」を公開

こくみん共済 coop が金沢大学・藤生教授と開発。お出かけ前に、これから通る道で過去に起こった事故の情報を調べたり、私たちのまちをより安全なまちにするために、危ない場所や交通安全の取り組みを行っている場所を投稿することができます。ご家庭や学校での交通安全教育にお役立ていただければ幸いです。

(公式サイト URL) <https://www.zenrosai.coop/stories/7pj/hazardmap/>



#### 4. 4月4日を「こども見守り活動の日」と制定

さらなる取り組みの普及を目的に、当会は4月4日を「こども見守り活動の日」として記念日制定しました。(一般社団法人 日本記念日協会 認定) 横断旗の寄贈をはじめとした活動を通じて、「こども見守り活動」を継続して応援していくとともに、多くの方の目に留まり、この活動への理解と応援の声が集まるような取り組みを拡充してまいります。

※2025年4月2日リリース：

全国1,500名の生活者(大人)に「子どもと交通安全にまつわる実態・意識調査」を実施

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000146.000065331.html>



#### 5. 交通安全デジタル絵本を公式サイトで公開

子どもと親の交通安全意識を高めることを目的に、親子で楽しみながら交通安全について学ぶことができるデジタル絵本「ふしきなふしきなマジカルメガネ」を公式サイトで公開しています。

#### <こくみん共済 coop >

正式名称：全国労働者共済生活協同組合連合会

たすけあいの生協として1957年9月に誕生。「共済」とは「みんなでたすけあうことで、誰かの万一に備える」という仕組みです。少子高齢社会や大規模災害の発生など、私たちを取り巻く環境が大きく変化しているなか、こくみん共済 coop は、「たすけあい」の考え方や仕組みを通じて「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にむけ、皆さまと共に歩み続けます。

◆こくみん共済 coop たすけあいの輪のあゆみ：<https://www.zenrosai.coop/web/ayumi/>

#### <朝日学生新聞社>

朝日学生新聞社は、朝日新聞社のグループ会社です。1967年に小学生向けの新聞を発行するために設立しました。現在、小学生向けの日刊紙「朝日小学生新聞」、中高生向けの週刊紙「朝日中高生新聞」、中～大学受験の月刊情報紙「朝日進学情報」を発行。

◆朝日学生新聞社ホームページ：<https://www.asahi.com/asagakuplus/>



国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年 (International Year of Cooperatives : IYC) に定めました。こくみん共済 coop は IYC2025 に賛同しています。

<https://www.zenrosai.coop/zenrosai/profile/kokusai/iyc/2025.html>



#### たすけあいの輪をむすぶ

<リリースに関する問い合わせ先> こくみん共済 coop SDGs・ブランド戦略部  
〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10 電話：03-3299-4232 / Email: [koho@zenrosai.coop](mailto:koho@zenrosai.coop)

#### <ご掲載・ご取材に関するお問い合わせ先>

株式会社ユース・ブランディング センター 担当:藤井、河名、川上

Tel:03-6821-8699 / Fax:03-6821-8869

藤井:090-7900-7866 / [s-fuji@ypcpr.com](mailto:s-fuji@ypcpr.com) 河名:090-7900-2759 / [k-kawana@ypcpr.com](mailto:k-kawana@ypcpr.com)